

# リスク評価とリスク管理

梅津 準士

(元食品安全委員会 事務局長)

## 各省庁との連携

### 内閣府

消費者及び食品安全担当大臣

- 食品の安全性の確保を図る上で必要な環境の総合的な整備 等

### 消費者庁

- 食品安全基本法の「基本的事項」の策定
- リスクコミュニケーションの実施・全体調整
- 緊急事態への対応・全体調整
- 食品表示—
- 健康増進法の特定保健用食品の表示の許可

### 消費者等

### 環境省

- 環境汚染に関するリスク管理—
- 土壌等の規制
- リスクコミュニケーションの実施
- 緊急事態への対応

## 食品安全委員会

- リスク評価(食品健康影響評価)
- リスクコミュニケーションの実施
- 緊急の事態への対応

情報収集・交換

諸外国・国際機関等

関係行政機関

リスクコミュニケーション

関係者相互間の幅広い情報の共有や意見の交換

事業者等

### 厚生労働省

- 食品衛生に関するリスク管理—
- 添加物の指定、農薬等の残留基準や食品加工、製造基準等の策定
- 食品の製造、流通、販売等に係る監視、指導を通じた食品の安全性確保
- リスクコミュニケーションの実施
- 緊急事態への対応

### 農林水産省

- 農林水産物等に関するリスク管理—
- 生産資材の安全性確保や規制等
- 農林水産物の生産、流通及び消費の改善活動を通じた安全性確保
- リスクコミュニケーションの実施
- 緊急事態への対応

# リスク分析の三要素

食品安全委員会

食べても安全かどうか  
調べて、決める

科学的

中立  
公正

リスク評価

厚生労働省、農林水産省等

食べても安全なように  
ルールを決めて、監視する

政策的

不安など  
国民感情

費用対効果

技術的可能性

リスク管理

リスクコミュニケーション

消費者、事業者など関係者全員が理解し、納得できるように話し合う

## 食品健康影響評価(リスク評価)の審議状況

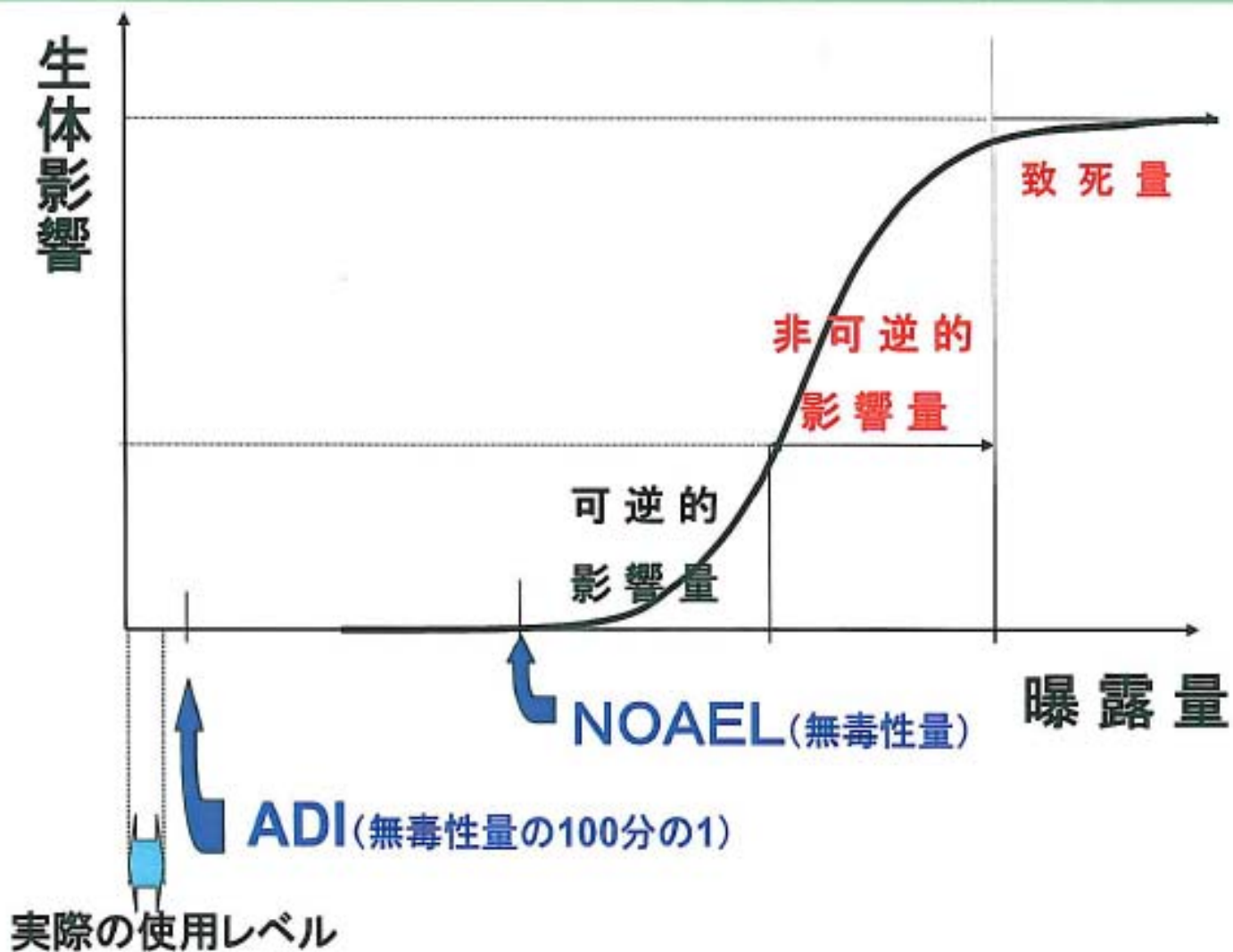
区分	要請件数	評価終了件数
添加物	128	108
農薬(ポジティブリスト関係、清涼飲料水含む)	739	393
動物用医薬品(ポジティブリスト関係含む)	301	270
肥料・飼料等(ポジティブリスト関係含む)	138	42
化学物質・汚染物質(清涼飲料水含む)	59	39
微生物・ウイルス	6	6
プリオン	14	23※
遺伝子組換え食品等	151	120
新開発食品等	72	66
その他(放射性物質等)	28	13
合計	1636	1080

※自ら評価案件「我が国に輸入される牛肉及び牛内臓に係る食品健康影響評価」について、評価終了欄には  
評価対象国1カ国を1件として記入している(現在11カ国分終了)

◆食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価案件も含む

平成23年12月14日現在

# 曝露量と生体影響の関係



# リスク評価の例(流れ)

＝ リスク管理機関から評価依頼を受けた農薬の場合 ＝

1 実験動物等を用いた毒性試験結果の検討  
無毒性量<NOAEL>の設定



2 一日摂取許容量 (ADI) の設定  
ADI: 認められるような健康上のリスクを伴わずに、人が生涯にわたって毎日摂取することができる体重1kgあたりの量



3 想定される摂取量がADIを超えないように  
使用基準を設定

(食品安全委員会)  
リスク評価

(リスク管理機関)  
政策の実施  
政策の決定